みとよし
三豊市

# 議会だより

2018年 2月号
No.24

http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/

みんな、一緒にあそぼ♪
（すくすくランド）

## 12月定例会

❸議案報告　❺審議結果　❻一般質問
⓫常任委員会　⓭調査報告
⓰三豊市に住んでみて

# 横山市長を悼む

皆さまご承知のとおり、
横山忠始市長が去る11月3日に、
ご逝去されました。
市議会では、12月定例会冒頭で、
故人を悼み黙とうをささげました。
横山市長は、平成の大合併が進む中、
旧詫間町長として7町合併にかかわり、
また合併後の三豊市初代市長として、
3期12年の永きにわたり
本市の発展にご尽力いただきました。
まだまだ今後のご活躍が期待される中、
体調を崩され療養中でした。
突然のご逝去の報に接し、
まことに哀悼痛惜の至りに
堪えません。
横山市長が愛した
田園都市・三豊の発展に、
市議会も一丸となり
努力してまいる所存です。

三豊市議会議長　城中利文

▲議会で答弁をする
横山忠始 前市長

三豊のシンボルフラワー“マーガレット”（フラワーパーク浦島にて）

## 初防災訓練

### 地震に備える（9月29日）

「本会議中に震度７の揺れに見舞われた」という想定のもと、防災訓練を行いました。議場での防災訓練は初めてのこと。

議場にいた議員や傍聴者はヘルメットをかぶり、庁舎隣の危機管理センター前駐車場に避難しました。

城中議長は「最近の傾向として、予期していない、想像をはるかに超える現象が起こっております。有事の際は、本日の訓練のように落ち着いて行動することが一番重要。非常に有意義な避難訓練であったと思います。」と講評。「今後も市議会として、市民の安全・安心の確保に努力していきたい。」と決意を新たにしました。

▲議場内で震災映像が放映

▲避難完了後の点呼

# 平成29年第4回　三豊市議会定例会

平成29年第4回三豊市議会定例会は、12月1日から15日までの15日間の会期で開かれました。

今定例会では、専決処分の承認を求めることについて2件、平成29年度一般会計補正予算5億3，931万8千円などの各会計補正予算13件、条例に関する議案9件、人事案件（農業委員会委員の任命）1件など、合計27議案を承認、可決、同意しました。

その他、議員提出議案1件、意見書案1件、議員派遣1件をそれぞれ可決したほか、請願1件を趣旨採択としました。

## 専決処分

**◉衆議院の解散による選挙に伴う予算及び台風18号による災害復旧工事予算の補正**

**◉市長選挙に伴う予算の補正**

## 条例制定

**◉工業用水道事業基金条例制定について**

工業用水道事業の計画及び実施に伴い、当該事業における施設整備、運営等に必要な財源を確保するための基金を設置するための条例

## 条例改正

**◉組織機構改革に伴う関係条例の整備**

平成30年4月1日付けで実施する予定の本市の組織機構改革に伴い、改正が必要となる条例を一括改正

**◉市民センター条例等の一部改正**

市民センター三野が竣工したことにより、三野支所、三野町公民館等を移転し、平成30年1月から供用を開始するため、改正が必要となる条例の一括改正

**◉廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正**

一般廃棄物可燃系ごみの事業系処理手数料を平成30年4月1日から家庭系の処理手数料と同額の2万4，800円に改定するため、条例の一部を改正

**◉火葬場条例の一部改正**

豊中斎場の建物を今年度中に解体し、七宝斎苑についても現状での供用状態に合わせて、条例の一部を改正

**◉水道事業給水条例の一部改正**

市内の水道料金統一化を目的として、豊中町に属する区域の料金表を廃止し、高瀬町・山本町・三野町・詫間町・仁尾町・財田町に属する区域の料金表を改定し三豊市全域の料金表とするため、条例の一部を改正

**◉三観広域行政組合の共同処理する事務の変更及び三観広域行政組合規約の一部変更**

譲渡した養護老人ホームの建て替えが28年度に終了したことから、観音寺市と協議の上、当該組合の共同処理する事務を変更するとともに、三観広域行政組合規約の一部を変更

**◉区域外における公の施設の設置に関する協議について**

コミュニティバス運行事業の路線が市の区域外に延長されるため

**◉市議会議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正**

人事院勧告により、一般職の国家公務員の給与に関する法律が改正されたことに伴い、市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例で規定する期末手当を一部改正

**◉市特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例の一部改正**

人事院勧告により、一般職の国家公務員の給与改定があり、それに準じて特別職の職員の給与に関する法律が改正されたことに伴い、市特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例で規定する期末手当を一部改正

**◉市職員の給与に関する条例の一部改正**

人事院勧告による一般職の国家公務員の給与改定及び香川県人事委員会による勧告に伴い、市職員の給料及び勤勉手当等を改正するため、条例の一部を改正

## その他

### 人事案件（敬称略）

○農業委員会委員の任命
矢野　直樹（豊中町岡本）

## 議員提出議案

### ◉市議会委員会条例の一部改正

改正後の常任委員会の名称、所管は次のとおり。

総務常任委員会
総務部、政策部、議会及び会計課、他の常任委員会の所管に属さない事項

市民建設常任委員会
市民部、環境部、建設経済部、水道局、農業委員会の所管に属する事項

教育民生常任委員会
健康福祉部、市立病院、教育委員会の所管に属する事項

## 意見書

### ◉道路整備に係る補助率等の嵩（かさ）上げ措置の継続を求める意見書

## 議員派遣

香川県市議会議長会県外合同視察研修会

### 議員の辞職

（辞職）　大平　敏弘
平成29年11月20日付

### 総務常任委員会委員長・副委員長の選任

（選任）
委員長　丸戸　研二
副委員長　込山　文吉
平成29年11月24日付

## 平成29年度 12月補正予算（原案可決）

○一般会計
5億3,931万8千円 増
総額327億6,338万5千円

○特別会計

●国民健康保険事業特別会計
32万4千円 増
総額99億3,786万8千円

●介護保険事業特別会計
1億4,005万8千円 増
総額78億9,638万9千円

●集落排水事業特別会計
92万円 増
総額1億7,721万4千円

○企業会計

●病院事業会計
8万6千円 増
総額18億87万2千円

## 視察受入状況

全国の自治体議会から、視察に来ていただいており、貴重な意見交換は、本議会にとっても刺激となっています。

●視察に来ていただいた議会の皆さま

平成29年
11月 7日
島根県　奥出雲町議会　教育福祉常任委員会
視察内容 ごみ処理対策について

11月 8日
滋賀県　近江八幡市議会　議会運営委員会
視察内容 議会活性化の取り組みについて

11月 9日
石川県　野々市市議会
会派「フォーラム・エヌ」「考える会」
視察内容 たくまシーマックスについて・議会インターネット中継・議会報告会・政務活動費のインターネット公開について

11月10日
熊本県　宇土市議会　文教厚生常任委員会
視察内容 学校給食について

平成30年
1月16日
静岡県　富士宮市議会　会派「公明会」
視察内容 バイオマス資源化センターみとよについて

## 議会日誌

**10月**
23日 広聴会議
30日 全員協議会
議会活性化特別委員会
建設経済常任委員会

**11月**
6日 議会活性化特別委員会
13日 建設経済常任委員会
14日 総務教育常任委員会
15日 広聴会議
16日 全国競艇主催地協議会
17日 議会運営委員会
21日 民生常任委員会
24日 総務教育常任委員会
議会運営委員会
28日 全員協議会
30日 議会広報委員会
議会運営委員会
県後期高齢者医療広域連合議会

**12月**
1日 定例会
議会広報委員会
5日 定例会（一般質問）
全員協議会
6日 定例会（一般質問）
8日 建設経済常任委員会
民生常任委員会
11日 総務教育常任委員会
12日 永康病院調査特別委員会
13日 議会運営委員会
全員協議会
15日 定例会
議会広報委員会
25日 三観広域行政組合議会
26日 三豊総合病院企業団議会

**1月**
11日 議会広報委員会

## 平成29年第4回（12月）定例会

### ■全会一致の議案

| 議案名等 | 議決結果 |
|---|---|
| 専決処分の承認を求めることについて（平成２９年度三豊市一般会計補正予算（第５号）） | 原案承認 |
| 平成２９年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市集落排水事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市病院事業会計補正予算（第１号） | 原案可決 |
| 組織機構改革に伴う関係条例の整備について | 原案可決 |
| 三豊市市民センター条例等の一部改正について | 原案可決 |
| 三豊市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正について | 原案可決 |
| 三豊市火葬場条例の一部改正について | 原案可決 |
| 三観広域行政組合の共同処理する事務の変更及び三観広域行政組合規約の一部変更について | 原案可決 |
| 区域外における公の施設の設置に関する協議について | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市一般会計補正予算（第７号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算（第３号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市集落排水事業特別会計補正予算（第３号） | 原案可決 |
| 平成２９年度三豊市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 三豊市職員の給与に関する条例の一部改正について | 原案可決 |
| 三豊市農業委員会委員の任命について（矢野　直樹） | 原案同意 |
| 三豊市議会委員会条例の一部改正について | 原案可決 |
| 三豊市立高瀬地域子育て支援センターの今後について | 趣旨採択 |
| 道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書 | 原案可決 |
| 議員派遣について | 可決 |

※人事案件（敬称略）

### ■賛否が分かれた議案

| 議案名等＼議員名 | 1 市川 洋介 | 2 石井 勢三 | 3 岩田 秀樹 | 4 浜口 恭行 | 5 丸戸 研二 | 6 水本真奈美 | 7 込山 文吉 | 8 西山 彰人 | 9 三木 秀樹 | 10 詫間 政司 | 11 金子 辰男 | 12 近藤 久志 | 13 川北 善伴 | 14 城中 利文 | 16 横山 強 | 17 鴨田 偕 | 18 為広 員史 | 19 香川 努 | 20 三宅 静雄 | 21 瀧本 文子 | 22 宝城 明 | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専決処分の承認を求めることについて（平成２９年度三豊市一般会計補正予算（第４号）） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案承認（賛19、反1） |
| 平成２９年度三豊市一般会計補正予算（第６号） | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決（賛19、反1） |
| 三豊市工業用水道事業基金条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決（賛19、反1） |
| 三豊市水道事業給水条例の一部改正について | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 原案可決（賛17、反3） |
| 三豊市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 原案可決（賛18、反2） |
| 三豊市特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 原案可決（賛19、反1） |

※○：賛成　●：反対　欠：欠席　退：退席　除：除斥
※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長　14番　城中　利文）
※15番は欠番

## 鴨田偕議員

### 横山市長のお別れの会について

**問** 横山市長は平成18年1月1日の7町合併後初代市長となり、3期12年間三豊市のかじ取り役として各般の施策に果敢に取り組まれた業績は非常に大きなものがあると思われる。横山市長は、去る11月3日に急逝された時には、三豊市長として現職であったので、三豊市としてお別れの会などを当局は計画して挙行されたらいかがか。当局が現在考えている計画などがあれば伺いたい。

**答** 横山市長は平成18年の三豊市発足以来、常に三豊市の最前線に立ち、この12年間はひたすら三豊のことだけを考え全力で走ってきた。その姿は市民の皆さまに鮮明にそして思い出深く刻み込まれていることと思う。

この激動の時間を議員各位また市長、市民の皆さまと一緒に過ごし、作り上げてきたのが一つの三豊市である。その功績を振り返り、横山市長をしのぶためのお別れの会を平成30年1月13日詫間町マリンウェーブにおいて行う予定にしている。

これまでの横山市長の功績を考えると、多くの市民の皆さまが市長とのお別れの場を望んでおられることを強く感じている。そのため、第1部として主に関係自治体や国県等の議員、市内の各種団体、そして横山家に関係する方々によるお別れ会とし、第2部では三豊市長とのお別れを望まれている全ての方々を対象としたお別れ会にしたいと考えている。

▲思い出の写真展

▲多くの市民が訪れた横山市長のお別れの会

## 浜口恭行議員

### 三豊市立学校再編整備基本方針について

**問** 三豊市立学校再編整備基本方針が出て、6年半以上が経っている。平成27年には文部科学省からの公立小中学校の適正規模・適正配置に関する手引きの通知もあり、政府の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中でも、小規模校の存続を選択する場合、活力ある学校づくりを目指した市町村の主体的な検討や、具体的な取り組みをきめ細やかに支援すると記述されている。今後は基本方針の見直しを検討すべきでないか。

**答** 三豊市立学校再編整備基本方針に基づく初期10年間の学校再編整備も順調に進んでいる。今後も住民の方々のご意見をお聞きしながら学校再編は進めていきたい。

また、しかるべきときには、学校は子どもの学習の場であるという教育的な観点、また地域の文化の拠点、学校運営の効率化や財政状況という観点などから、それぞれの地域にふさわしい活力ある学校づくりが進めていけるよう検討していきたい。

**問** 新しい首長と基本方針の確認、地域コミュニティーの核としての学校の役割についての話し合いをお願いしたい。

**答** 新しい首長とは、総合教育会議などもあり、そういう機会を十分に生かして、この基本方針あるいは今後の方向性などについては、意思疎通をしていきたい。

**問** 全国的に廃校の効果的な官民連携の事例もあり、今後の廃校した後の小学校、幼稚園などの具体的な利活用をどのように考えているか。

**答** 地域の方々に、まず考えていただくとのスタンスは変わらない。官民連携手法による跡地活用が進んでいることは認識しているので、民間活力も含め、跡地利用がどう地域活性化に繋がっていくのかを協議していきたい。

▲廃校した旧箱浦小学校

## 為広　員史　議員

### 山本町の幼稚園・保育所の整備について

**問** 29年度本予算成立後に附帯決議がなされ、先般、市より今後の計画案が示されたが、当初の29年度予算とは全く違う計画案であった。市長より、小学校開校の翌年には大野小学校跡地に新設園として開園するとの説明があった。それにより計画がなされ、市民説明があり、市民理解が得られ、予算が立てられた。附帯決議についても議会への説明が足らないということが、主原因であるのにもかかわらず、なぜこのように簡単に当初計画を変えてしまうのか。当初計画を詳しく議会説明をして理解を得ようとしなかったのか。

**答** 当然のことではあるが、基本設計の作成においては、議会、地域、執行部との共通理解のもとに取り組んでいく。今後は平成32年4月の統合幼稚園の開園に向け、非常に厳しいスケジュールとなっているが、施設整備を行う。

### 財田川の河床整地について

**問** 台風の影響で避難勧告がたびたび出され、財田川の決壊が心配された。川の中の樹木の生え茂った場所や堤防のない箇所を整備するとともに、堤防の構築を検討するよう、県に対し早い実施を要望してほしい。またダムの放水に対して十分に注意をするように要望してほしい。

**答** 河道拡幅と河川整備の推進や洪水調整などの治水対策について県や県議会へ要望書を提出している。ダムに対しても、流域住民の安全対策、安全整備について要望していく。

▲山本町樋盥（ひだらい）浄水場付近

## 西山　彰人　議員

### 災害時の食料支給について

**問** 今年の台風時に、食料と水を持って避難するようにと、放送があった。地震などの巨大災害時には、持参することはできない。「いざ」の時のために、台風時に、非常食や炊き出しの確認の訓練を兼ねて、食料や水を提供してはどうか。

**答** 市は自主防災組織や自治会等の協力を得て、炊き出しや食料の配分を行う。また、食料等の備蓄については計画的に推進していく。

### 災害時の対応について

**問** 避難場所についての意識を高めるために、避難所の決定は自治会にお任せしてはどうか。また、災害派遣をした職員が生かされているのか。たとえば、現地でカーナビが付いた車だったので役に立ったと聞いたが、そんな経験が三豊市で生かされているのか。

**答** 災害現場を経験している職員の貴重な経験を生かし、市内において災害発生時には中心的な存在として活躍していただきたいと考えている。避難所については地域防災計画の中で見直しを検討する。

### 幼稚園と保育所の違いについて

**問** 法律的に幼稚園と保育所とは全然違うが、どう違うのか市民の皆さんに知らせてほしい。法律では、保育に欠ける児童を保育するのが保育所であり、教育するのが幼稚園なのだから、幼稚園の預かり保育は間違っているのでは。なお、今では保育所も就学前教育を行っていると思うが、どうか。

**答** 幼稚園は、学校教育法第1条及び第22条などを根拠に設置された学校であり、保育所は児童福祉法第7条及び第39条などを根拠に設置された児童福祉施設である。対象年齢は、幼稚園が3歳、4歳、5歳児となり、保育所は保育の必要な0歳から5歳児を保育している。

【保育所と幼稚園の違い】

| | 保育所 | 幼稚園 |
|---|---|---|
| 目　的 | 日々保護者の委託を受けて、乳児または幼児を保育する | 幼児を保育し適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する |
| 保育年齢対象 | 0歳から小学校入学前までの乳児や幼児 | 3歳になった春から小学校入学前までの幼児 |
| 標準的な保育時間<br>※施設ごとに異なります | 7時半～18時頃まで<br>◎標準保育時間…8時間 | 9時～14時頃まで（延長なしの場合）<br>◎標準保育時間…4時間 |
| 保育料 | 自治体が保護者の所得状況に応じて設定 | 私立は設置者が設定<br>公立は自治体が設定 |
| 給食の有無 | 義務 | 任意 |
| 先生の必要免許 | 保育士資格証明書 | 幼稚園教諭免許状 |
| 所管 | 厚生労働省 | 文部科学省 |
| 根拠法令 | 児童福祉法 | 学校教育法 |



詳しくは三豊市議会HP→会議録検索システム　平成29年第4回定例会会議録は2月下旬に掲載予定

## 丸戸　研一　議員

### 小規模ため池の改修促進について

**問** 去る9月に襲来した台風18号など、集中豪雨やゲリラ豪雨などが頻発するようになった。次第に管理が行き届かなくなりつつある小規模ため池に対する課題と具体的な対策をどう考えているか。

**答** 防災上の観点からも早急に改修が必要なため池が増加しており、老朽ため池の改修は重要な課題となっている。

**問** 現下の整備状況と整備スケジュールはどうなっているか。

**答** 財田地区においては、中山間総合整備事業による予算の確保を要望しており、可能な限り早期に整備を進めたい。

**問** 今のスケジュールでは、三豊南部地域の中山間地域における小規模ため池整備には時間がかかり過ぎる。今日のように、集中豪雨やゲリラ豪雨の頻発化に対応するためにも、時間短縮ができないか。

**答** 財田地区については、32年度着手予定としているが、一年でも早く事業着手できるよう頑張る。

### 農産物の6次化推進について

**問** 農産物の加工・流通への意欲が高まっている。現在、施設の老朽化等により休止状態となっている財田町農産加工実習室を再生し、地域の熱意と農業の新たな分野の創造に応えられないか。

**答** 農産物の6次化、特産品開発、道の駅とのタイアップなど、意欲のある団体との協議を進めたい。また、新たな商品開発、ブランド化、販売の促進など、関係団体と連携・支援を行う。

**問** 食生活改善クラブや婦人会では、施設の利活用について具体的な協議を進めている。30年度において、施設の抜本改修を進め、これらの活動を強力にサポートしていただきたい。

**答** 意欲のある団体と協議を行い、財政当局に要望、要求していきたい。

▲財田町農産加工実習室

## 瀧本　文子　議員

### 児童虐待の予防対策について

**問** 児童虐待の痛ましい事件が後を絶たない。県内の相談件数は959件と毎年増え続け、その要因として50%の家庭が経済的困窮を抱えている。配偶者に子どもの目の前で暴力をふるう「面前DV」という、心理的虐待が児童相談所に多く通報されている。特に乳幼児期の貧困は成長に大きく影響するため、できる限り早い予防策が必要。関係機関が連携する支援体制が必須である。行政が行う①「乳幼児家庭全戸訪問事業」②「養育支援訪問事業」③「一時預かり事業」の現状、また民間事業者への補助金の充実等について伺う。

**答** 児童虐待は社会全体で取り組まなければならない重要課題であり、関係機関と連携し、一刻も早い終結に取り組んでいる。①生後4カ月までの乳児のいる家庭を全て訪問し、気になる家庭は児童家庭相談員につなぎ訪問・相談に努めている。市児童対策協議会の虐待対応ケースは21世帯37人（28年度・児相の件数を合わせると約110件くらいとみられる）で身体的虐待12人、ネグレクト21人、心理的虐待2人、性的虐待2人となっている。②事業でヘルパー派遣の基準は、母親の育児ストレスや衣食住の環境の不適切、望まない妊娠による支援などである。③この事業は養育者の負担軽減が目的なので「子育てがつらい、休みが欲しい」などリフレッシュの場合も利用できる。支給される（申請式）「子育て応援サービス券」（3万円）を役立ててほしい。一層のサービス充実に努めていきたい。

▲乳児健診・相談　診察

QRコードを読み取ると、各議員の質問の様子が視聴できます。

## 込山　文吉　議員

### 福祉タクシー事業について

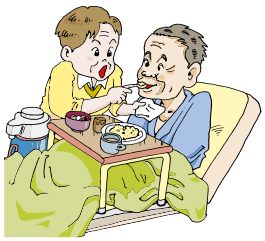
**問** 福祉タクシー券交付を運転免許証を持たない人に限定し、乗り合いタクシーの導入など、交通弱者に寄り添った施策とすべきではないか。

**答** 市の高齢者の運転免許証保有の状況は、80歳以上保有率は32・7％で3人に1人が運転免許証を持っている。交通弱者である年少者、要介護者、一部の高齢者や障がいのある方など、電車やバスにないドアツードア輸送のタクシーサービスの提供は、交通手段の確保と経済的負担の軽減が図られるので、高齢者のみならず交通弱者への視点から検討する必要がある。対象者アンケートを来年4月の交付申請時に実施するとともに、他市の事例なども調査し、今後の福祉タクシーのあり方について検討していく。

### 特別養護老人ホームの状況

**問** 特別養護老人施設の待機状況を聞く。また、介護従業者がどのような状態かを聞く。

**答** 特別養護老人ホームの実申込者数は707人、そのうち介護老人保健施設等の入所者、また、特養以外で対応が可能な方、介護度の低い方を除いた101人を入所待機者と考えている。介護従事者の状況は、介護職員の確保に大変苦慮している。2025年団塊の世代が全て75歳以上となり、認知症や医療ニーズを併せ持つ要介護高齢者の増大が大幅に見込まれ、介護人材の確保に向けた取り組みが求められている。



### ごみの18分別の状況について

**問** 市民の方々の協力によりごみの18分別を行っているが、どのような成果が出ているのか。

**答** 資源ごみには900トンから1，300トンと1.4倍に増加し、資源ごみの排出量は開始以後、大きく増加しており28年度の売却益は1，300万円余り。売却益の一部は学校等の市民団体が実施しているリサイクル活動の交付金等に充てられている。

## 水本真奈美　議員

### 防災・減災対策ついて

**問** 国土強靱化地域計画の策定が進んでいる。本市の状況は。

**答** 市総合計画を包括する上位計画であるという認識のもと今後検討していく。

**問** 指定管理の施設並びに商業施設等が避難所となった場合の管理運営や協定について。

**答** 避難所として使用可能な指定管理施設が19施設ある中、現在2施設を指定している。今後は指定管理者と協議の場を設け指定避難所を増やせるように取り組む。商業施設も、企業との協議をしていく。

▲紙カップ式自動販売機

**問** 紙カップ式自動販売機は、災害時には飲料の無料提供、乳児のミルク用のお湯や薬を飲む服用水も提供する機器である。設置の考えは。

**答** 震災時の避難者にとって有効となる機器である。四国内の公共機関に協定実績があり、先進地を参考に設置に向け検討する。

### 交通安全対策について

**問** 過去3年間のデータから自転車事故は10歳以上20歳未満の方が交差点で登下校する時間帯に安全不確認から起こる確率が非常に高い。安全強化対策として特に夕方下校時の反射材の着用啓発並びに自転車の前かごに反射材を取り付けてはどうか。

**答** 今後一層の反射材の着用を推進し日常的に使用啓発に努めていく。前かごに反射材の取り付けは安全確保対策として検討課題とする。

**問** 児童生徒の自転車保険の加入推進について伺う。

**答** 自転車事故等に対応できる日本スポーツ振興センター災害共済給付金制度に全員が加入している。加害者になる場合もあるので国・県のPTA組織の保険制度の周知啓発に努める。子どもたちが交通事故に遭わないこと並びに加害者になることも想定した対策が必要と考える。


詳しくは三豊市議会HP→会議録検索システム 平成29年第4回定例会会議録は2月下旬に掲載予定

## 岩田 秀樹 議員

### 住宅リフォーム助成制度の来年度計画について

**問** 住宅リフォーム助成制度は、住環境の整備と地域経済の活性化を目的とする経済対策として4年前から開始。

香川県産業連関分析によると、3年間で、最終需要額14億5，724万円の1.76倍である約25億6，474万円の経済波及効果が明らかになっている。

毎年、予算を超える応募があり、議会報告会でも延長の要望が出されている。来年度計画はどうなっているのか。

**答** 住宅リフォーム助成制度は、地域経済活性化推進事業として、28年度末終了の予定であった。しかし、議会からの継続要請を重く受け止め、29年度は延長を決定し、予算を縮小し実施している。

住宅リフォーム助成制度は、議会の事務事業評価結果を重く受け止め、次年度の予算編成の中で改めて検討していく。

【4年間の利用状況】

| | |
|---|---|
| 利用者数 | 1,036人 |
| 補助金交付見込額 | 1億8,060万円 |
| 施工市内事業者数 | 191事業者 |
| 施工費の合計見込額 | 16億4,022万円 |

### イノシシ出没に対する登下校生に対する対応について

**問** 野生生物のイノシシの出没が、農地・果樹林だけでなく、市街地での目撃情報も増加し、住宅地近くまで出没している。

長距離の登下校対策、遭遇したときの対処指導、イノシシ出没目撃情報の共有化など、注意喚起を常に行い、地域の情報に合わせ、対策や取り組みを行ってはどうか。

**答** 登下校時以外でも目撃情報は共有している。

また、現実に出会ったときの対応について、学校現場では普及センターの出前授業を実施しており、保護者も参加していただく方法も検討したいと思っている。

## 三木 秀樹 議員

### 前市長の議会最後の「ことば」を生かす永康病院「新建設」の意志を聞く

**問** 「永康病院については、執行部と議会である種の政治判断を行い、それで市民の皆さま方のご意見を聞きながら解決されていくと思っています」が、横山前市長9月議会最後の答弁であった。当局は1年前に新建設素案を出して以後何の提示もない。新病院を建設する意志はあるのか。

**答** 同病院の建設については、議会、執行部、病院が一体となって取り組まなければならない非常に重要な案件だ。

その病院整備の具体的な方向性は新市長にご意見をお聞きし、改めて議会に提示したい。

▲永康病院

### 公共施設の使用料に関して、公民館等はこれからも「免除」でいいのか

**問** 行革推進部局の9月議会答弁は「公民館含めた教育委員会施設に関して教育委員会が進めております」が、28年3月議会の部分（教育部長が同議会で発言した部分）は、そのまま進めていく」と言っている。

その内容は、同月議会で教育部長が「公民館の使用料を条例で明示するが、免除規定を適応してこれまで通り免除（無料）とします」だ。今後も、この教育委員会の判断を尊重するという認識でいいのか。

**答** 公共施設の使用に関しては、目的に合致したものは、免除する。その判断を教育委員会が行ったのであるから、そのまま尊重するということだ。

**問** 行革推進で示した指針の免除規定には「教育委員会の判断」は適用されない、と思ってきたが、教育委員会の免除規定は今後も生かされるのでいいのか。

**答** 多くの市民のご意見をいただいた。市としては市民活動の活発化が第一義だ。施設の使用目的に応じたものについても、指針の免除方針による。

## ＝その他の質問＝

○「地域内分権」の到達点としたまちづくり推進隊について

○水族館問題でのPFI方式で「学んだ点」について

## 総務教育常任委員会

12月11日開催の総務教育常任委員会には8議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

**29年度一般会計補正予算関係部分**

**問** 工業用水道料金の債務負担行為について、債務の金額を明示しない方法はあるのか。

**答** 金額を定めず、書きぶりで確認できるような表示は可能である。

**問** 債務負担の額が努力によって変化するのであれば、結果が出てから出せないのか。

**答** 市長が交代することで企業は不安がっている。今の時点で債務負担を起こし、新しく市長が決まれば、政策を決定し、企業と協議を行いたい。

**問** 政策のために債務負担の額を明示しないやり方は、今後もあるのか。

**答** 特例だが今後も考えられる。雇用と税収も含め、議会にも十分諮りながら検討していきたい。

**組織機構改革に伴う関係条例の整備について**

**問** 保育幼稚園課について、幼稚園の人事権は市長部局ではなく、教育委員会にあるのではないか。

**答** 教育委員会にある。

**問** 人事権以外は市長部局、人事権は教育委員会という組織機構で、適切な人事は担保されるのか。

**答** 職員に係る部分は全て教育委員会に残し、幼稚園教育の指導・助言等に関しても教育委員会が行う。

**問** 教育委員会から健康福祉部に移る業務は何か。

**答** 園児の入園・転園等、園に係る予算執行、幼稚園の保育料の調整及び減免に関することなどである。

**問** 山本町の今後の計画も保育幼稚園課が担当するのか。

**答** そうである。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

▲ 元気に遊ぶ子どもたち

## 建設経済常任委員会

12月8日開催の建設経済常任委員会には、3議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

**29年度一般会計補正予算関係部分**

**問** 歳入で社会資本整備総合交付金が1億8，800万円減額されている。市道大麻山幹線の舗装改良事業の事業見直しにより、1億8，800万円が減額されたようにみえるが大麻山幹線での減額は歳出の600万円ではないのか。

**答** 歳入1億8，800万円の減額は社会資本整備事業で行っている事業箇所全体の総額であり、歳出600万円の減額は大麻山幹線に関するものである。

**水道事業給水条例の一部改正について**

**問** 今回の「水道事業給水条例の一部改正について」は、広域水道企業団に参加するために、料金体系を整備するための改正と理解している。工場用水供給事業は、合併後10年で廃止されると理解しているがどうか。また、市内の水道料金統一は、広域水道企業団への参加するための条件と思うがどうか。

**答** 今回の料金改定は、広域水道企業団へ移行するタイミングで、市内の料金を統一するものである。平成30年4月の事業団の事業開始後、10年間については、区分経理ということで、今回の料金で大丈夫だが、10年後には県内統一料金になるとともに、工場用という料金はなくなる可能性が高い。

**問** 豊中町の水道料金が大幅な値上げになるが、どの程度なのか。また、豊中町の市民の方々への説明会を開催すべきと考えるがどうか。

**答** 値上げ率については、13ミリの口径で、平均25％である。

また、豊中町の市民の方への説明会の開催については、委員会の意見を踏まえ、検討する。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

▲ 料金改定のちらし

## 民生常任委員会

12月8日開催の民生常任委員会には7議案が付託され、継続審査請願と併せて審査した。

### 主な質疑と答弁

**29年度一般会計補正予算関係部分**

**問** コンポスト肥料の販売が来年の1月からになる理由は。

**答** 業者選定し10月販売前に業者の都合により、再度、公募を行い業者決定し1月から高瀬町で販売となる。

**問** 健康福祉部関係の補正を踏まえ来年度の予算をどう見込むのか。

**答** 医療費増大と支援の必要な方が増加傾向にある。予算は、既に増加の見込みで、新しい施策に取り組めない。現状維持でも非常に負担が増えている。

**29年度集落排水事業特別会計補正予算**

**問** 上高瀬第一地区の集落排水は順調か。今後の大修理計画は。

**答** 設置後20数年経過し、本体施設の故障や中継ポンプが詰まる修理が多発している。大規模修繕工事も、取り組もうと考えている。

**29年度病院事業会計補正予算**

**問** 訪問看護事業は月に約30件から27件ということか。

**答** 対象者の増減は各月によってある。現在、詫間、仁尾、三野の北三豊地区が対象となっている。

**火葬場条例の一部改正について**

**問** 豊中火葬場は取り壊す。七宝斎苑は既に取壊しとなっているので条例を改正するのか。

**答** 北部火葬場七宝苑として供用開始時に改めて改正したい。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

**請願「高瀬地域子育て支援センターの今後について」**

願意には賛同できるが、市のにぎわい創出事業として子育て支援施設構想との整合性に無理がある。子育て環境の充実は重要であり請願の趣旨を重んじて趣旨採択すべきものと決定した。

▲ 高瀬地域子育て支援センター

## 「市政に対する要請書」提出

5月11日から6月1日までの間、市内26会場で議会報告会を開催し、526人の皆さまの参加がありました。報告会では、まず議員から29年度予算についての報告をし、その後参加された皆さまの貴重なご意見やご提案をいただきました。その中から市の問題や市民から重要とする案件5件を抽出し、市民の声として、よりよい三豊市づくりに役立てたいと「市政に対する要請書」とし、12月1日の本会議において城中議長より、市長職務代理者小野副市長に提出しました。その内容をお伝えします。

**1．防災対策の強化**
- ●自主防災組織の編成強化
- ●防災教育の普及徹底

**2．人口減少対策（現下の状況と将来計画の提示）**
- ●組織横断的なプロジェクトチームの設置
- ●国策としても教育の無償化が推進される中、三豊市としての独自性のある施策の検討

**3．公共施設の利用料（取り組み方針の提示）**
- ●市民による公共施設の利用における利用料金の取り扱い
- ●同一目的の公共施設間における利用料金のバラツキ現象への対処

**4．有害鳥獣対策事業の拡充**
- ●産学官で共同し、ＩＣＴを利用した有害鳥獣対策の取り組み
- ●被害を受けている農業者と猟友会等で団体をつくっての取り組み

**5．荒廃竹林対策**
- ●国の森林・山村多面的機能発揮対策として、交付金支援制度があるが、市としての組織的な活動団体への支援や交付金の上乗せ等への取り組み

## 常任委員会・特別委員会からの報告

平成29年12月定例会では、３常任委員会と２特別委員会から、これまで各委員会が調査・研究してきたことについて、報告が行われた。要旨は次のとおり。

### 常任委員会

平成28年第１回臨時会にて、委員の任期中、閉会中であっても所管部局の業務について、調査・研究し、その上で改善・改良すべきことを指摘、あるいは最終的な提案等を行うことを目的とし、次の事項を所管事務調査案件とした。

#### 総務教育常任委員会

- 自主防災組織の編成強化（組織率の向上及び強化・育成）
- まちづくり推進隊の現状と課題（各団体の取り組み事業と課題）
- 学校等再編整備について（幼稚園を含んだ学校再編のあり方、こども園化と課題）

#### 建設経済常任委員会

- 市道の整備について（市道認定の見直しや再編）
- 地域を守る農業について（有害鳥獣対策、農地を守る政策、農業振興地域の変更）
- 土地改良区について
- 都市計画について（都市計画区域の見直し）

#### 民生常任委員会

- 子育て支援について（保育所、認定こども園等）
- 病院のあり方、医療体制について
- 高齢者対策について（認知症等対策）

### 特別委員会

#### 議会活性化特別委員会

（平成27年３月26日　本会議で設置）

さらなる議会改革及び議会基本条例に係る取り組みの推進に向けた調査研究

#### 永康病院調査特別委員会

（平成28年12月22日　本会議で設置）

耐震性の問題、医師確保、経営形態のあり方などの課題について、新公立病院改革プランや香川県地域医療構想との整合性について

## 総務教育常任委員会調査報告

総務教育常任委員会では、28年度及び29年度を通じ、１年９カ月にわたり、所管部局の以下３件の事業について調査研究を行い、12月15日開催の平成29年第４回三豊市議会定例会において報告した。

### ◆自主防災組織の編成強化

三豊市の自主防災組織の組織率は、72・7％となっているが、独自の訓練等が未実施の組織もあるという現状を踏まえ、自主防災組織の編成強化と防災意識の普及徹底を取り上げるとともに、市民一人一人の中に、防災意識を浸透・普及させるため実効性のある、より現実に近い訓練の実施等による今後の防災対策の強化を求める。

▲防災訓練の様子

### ◆まちづくり推進隊の現状と課題

制度創設から５年が経過した。三豊市まちづくり推進隊の実施事業については、事務事業診断などのシステムが整備されておらず、組織活動と実施事業に客観性を持たせることに懸念が残る。

今後は議会として、行政と市民がそれぞれ担っていくべき公共サービスの在り方などについて、よりチェック機能を果たさなければならない。

### ◆学校等再編整備について

平成23年５月、市教育委員会が「三豊市立学校再編整備基本方針」を策定し、今後10年間の学校再編整備計画を明らかにした。

現在、詫間地区地域協議会が設置され、平成31年４月に大浜小学校と詫間小学校の統合を目指した検討が行われている。曽保小学校についても、教育環境の充実と子どもの健全な育成のため、引き続き保護者との協議を継続し、適正化に取り組んでいる。

山本地区就学前施設建設事業予算に附帯決議がなされ、現在検討が進められている。早急に市としての方針を示し、子どもの適正な保育・教育環境の整備が行われるよう求める。

以上、報告する。

# 建設経済常任委員会調査報告

平成28年第1回臨時会において、本常任委員が選任され、「市道の整備について」「地域を守る農業について」「土地改良区について」「都市計画について」の4件を所管事務調査案件として選定し、調査を行ったので、その結果を報告する。

## ◆市道の整備

栃木市への行政視察研修や市道の見直し基準案について、委員会で協議の結果、旧町の町道をそのまま市道として引き継いでいる現状を改善するために、市道路線網図、道路台帳の他、境界確認データや橋梁台帳等を含め、市道の一括廃止、一括認定方式で市道再編を考えるべきであり、そのうえで道路管理システムを作る必要がある、との結論に至った。

## ◆地域を守る農業

行政視察や意見交換会を行い、調査研究を進めた結果、有害鳥獣対策として、被害を受ける側を中心に、猟友会のメンバーで構成されている「三豊市鳥獣被害対策実施隊」と連携を図りながら対策の強化を進めること、さらに、獣感知センサーや罠捕獲センサーなどを設置し迅速な追い払いや捕獲に寄与している自治体を参考に、三豊市でも産学官の連携により、ICT化の研究を行っていくように求める。また、農地を守るために、認定農業者に対する優遇政策を拡大し、三豊市の農産物の柱を絞り込むことで地域ブランド化を図るとともに、農地中間管理事業の積極的推進を行い農地復活に努めていくこと、さらに、農業振興地域の変更について、市民の要望に応えられるよう、県に対して変更に係る要件の規制緩和を要請すること、以上のことを求める。

▲アニマルセンサー

## ◆土地改良区について

三豊市内の旧町間の、土地改良区の有無を含めた事業展開の違いによるさまざまな差異や、合同事務所の設立、事務の統合・平準化について委員会で協議を行った結果、市内では同等で統一されることが必要であることから、不合理の生じない行政を求める。

## ◆都市計画について

合併後は都市計画区域の再編を行っておらず、旧町の都市計画区域を引き継いだままであるとの現状から、課題や改善策について、委員会で協議を行った。市全体で都市計画区域の拡大再編が求められ、特に本庁があり都市化が進む高瀬町が都市計画区域になっていない現状は、市の街づくりに支障があると考えられるので、県と共に都市計画の見直しを行っていく必要がある。

以上の結論に達したので、報告する。

# 民生常任委員会調査報告

平成28年第1回臨時会において、当常任委員が選任され、所管事務調査案件を「子育て支援について」「病院のあり方、医療体制について」「高齢者対策について」の3件を選定し調査を行ってきた。

## ◆子育て支援について

行政視察研修及び市内現地視察等を行い、豊田市寺部こども園では、小学校と合築で小1ギャップ解消、地域との交流教育に取り組んでいた。新見市の哲西認定こども園は庁舎施設を保育・医療・福祉・生涯学習の総合センターの機能を持った複合施設であった。また、松山市立余土保育園は旧中学校校舎に改築移転し校舎の躯体や基礎構造を生かすことで建築費用の軽減が図られ、複合施設の在り方、遊休施設の有効利用、子育て総合相談の充実の点で大変参考となった。

## ◆病院のあり方、医療体制について

京丹後市の久美浜病院を視察する中で、医師確保の課題については、医師・看護師の奨学金制度や院長はじめ医師間の支えあう協働で当直医が診療科を問わず救急時間外診療を担当する一方、緊急医療業務手当の創設など医師の協力体制を確立していた。その他、病院経営の課題等についても調査研究を進めてきたが、永康病院調査特別委員会が平成28年12月に設置されたことで調査を終了した。

## ◆高齢者対策について

周南市のもやいネットセンター推進事業を行政視察研修を行い、調査を行ってきたが、今後さらに高齢者の包括的相談を充実し、発展させることは超高齢化が進む本市にとって重要な課題であるため次期委員改選以降も引き続き調査研究されることを期待する。

▲余土保育園視察研修の様子

▲改築移転した余土保育園

# 永康病院調査特別委員会調査報告

本委員会は、平成28年12月22日に設置され、永康病院の耐震性の問題、医師確保、経営形態のあり方等の課題について、新公立病院改革プランや香川県地域医療構想との整合性について調査・研究した。

委員会では、永康病院の今後のあり方について議論し、研修会では議会議員研修会として城西大学の伊関友伸先生の講演をいただき、報告書の根幹となる貴重な提言をいただいた。また、先進地研修では、常滑市民病院と下呂市立金山病院の2カ所を訪問した。

それらを踏まえ、永康病院に対し伊関友伸先生からの提言を基に、ソフト面とハード面で整理を行った。

**【ソフト面】**

- 病院経営に対する提案①市長部局に医療対策課を設置②病院に地方公営企業法の全部を適用　他
- 人材確保に対する提案①医師や看護師等に魅力ある勤務体制②人事交流等で職員の能力向上　他

**【ハード面】**

- 建て替えと経営内容に対する提案①市立2病院を存続させ、永康病院を建て替える②永康病院は救急告示病院とする　他
- 建て替え方針及び規模に対する提案①病院、市役所、市議会はローコスト建築を徹底的に研究②50床だけでなく全120床程度も検討
- 新たに建築する場所に対する提案①ローコスト建築の視点から場所は複数案検討②企業債・合併特例債の他、多様な補助金の可能性を検討　他

以上の提言をもって、調査・研究を終了した。

▲伊関友伸先生の講演

▲先進地研修（下呂市立金山病院）

# 議会活性化特別委員会調査報告

本委員会は、平成27年3月の本会議において設置されて以来、委員会の設置目的である「さらなる議会改革及び議会基本条例にかかる取り組みの推進に向けた調査研究」を行ってきた。41回の委員会と1回の議員研修会の開催および、4回の先進地研修を実施した。いずれの市議会も議員が一丸となって議会改革に取り組んでおり、当委員会が進むべき道とその方策を調査研究する上で非常に参考になった。

**1. 議会報告会について**

市民の皆さまからいただいたご意見を整理し、重要な事項については、「市政に対する要請書」とし、市長に提出した。

▲議会報告会

**2. 一般質問のあり方について**

会議規則を改正し、質問回数制限を撤廃することとした。

**3. 反省会の実施について**

定例会後、反省会を実施し、改善点があれば、随時、改善を図る。

**4. 政務活動費について**

政務活動費の後払いについての協議がなされたが、当市議会においては、政務活動費は適正に執行されており、後払い制に移行する必要性はないとの結論に至ったが、今後引き続いて検討する余地があるものとした。

**5. 各種団体との意見交換会の開催について**

開催要綱を制定し、平成29年6月から施行している。施行後、開催の事例はないが、継続して取り組む。

**6. 事務事業評価の実施について**

本年度は試行的に取り組み、8事業を事務事業評価し、その結果を議長より市長に提出した。

**7. 請願、陳情の意見聴取について**

調査研究の結果、「請願の趣旨補足説明実施規程（案）」を作成した。

**8. 行政視察報告について**

より市民に「開かれた議会」を目指そうとするもので、各委員会が実施している行政視察研修の所感をホームページにより、報告する。

# 三豊市に住んでみて

## 三豊に期待します

高瀬町　齊藤　洋三さん

三豊で生まれ、周囲の人たちから温かく見守られかわいがって下さった18年。高校を卒業し大学進学そして就職、さまざまな街を見、人々とかかわりを持ちながら、40年以上が過ぎていました。

定年退職を機に、長女夫婦とともにUターンし、あらためて、三豊で洋菓子と焙煎珈琲の店を開いて2月で1年になります。「受け入れてくれるだろうか。」と不安でいっぱいでした。

しかしながら、地域の方々はもとより、市内の皆さまにも温かく受け入れていただき、また親戚、先輩、後輩などたくさんの旧知の方々からの支えでここまでやれたと思います。

「三豊の人はとっても温かい。」

その一方で、少年時代と大きく変わって、大規模商業施設や、大手飲食チェーンの店舗がいっぱい出来て、昔懐かしいお店はなくなり、にぎわいもなくなって驚くばかりです。自動車の数の多さにもびっくりで、ルールが十分守られていないと感じることがよくあります。何度か危険な目に遭いました。ただただ困惑することが多いです。

移住者という立場からみて、昔から根付くしきたりとともに、全国的に認知された規則やしきたりを併せ持つルールがあってほしい。また、「地方ならではのにぎわい」を取り戻してほしいです。

このことが、移住者の期待感を大きくし、さらに、安心して移り住むために必要な基盤ではないでしょうか。

## 農業の6次産業化で街の活性化を!!

三野町　長尾　眷三さん

50年ぶりの故郷での生活はうれしく懐かしの気持ちと同時にじれったくてうら悲しいものでもあった。「豊かな自然に恵まれ、大きな災害にも遭わず、穏やかで優しい人々に囲まれてのゆったり生活」。

これはこれで素晴らしいことではあるが、それゆえの「マンネリでぬるま湯」的な雰囲気に慣れきっていないのかーこれが私の第一印象だった。

市長は今後の危機感を盛んに訴えるが、多くの市民はいたってのんびり。

「だって、いきなり石油が出てくるわけでもなく、大企業が進出して人口が増え、財政が豊かになるわけでもなし。ガツガツしなさんな。」が一般的な市民の声。しかしそれでいいのだろうか？

三豊市には石油や大企業進出は期待薄だがそれに代わる大変な宝物がある。それは第1次産業ー特に農業。三豊市は何といっても農業中心の街だ!!

私の知っている70～80年前には人々は山を開き、荒野を開墾し必死になって農作物を作った。しかし今では休耕田がごろごろ。ご家庭の庭にある柿やイチジクなどは鳥が食べ放題。川原・山に生える山菜はほったらかし。50年ぶりに帰ってきた私から見るとまことにもったいないかぎり。農業の活性化は難しい問題が多々あるが、不可能ではない。早急に「農業活性化プロジェクト」を市長・行政を中心に立ち上げ、農業の6次産業化を成し遂げるべきと考える。

## 編集後記

横山前市長が御逝去され早3カ月が過ぎました。その間、新市長の誕生、議員改選とめまぐるしく時が過ぎ去って行きました。改選にあたり、この号をもちまして今期の議会広報委員による発行は終了いたします。2月から新しい議会のスタートです。心新たに、今後もより以上に、議会の充実をはかり、市民の皆さまから信頼を寄せられ、身近に感じていただける「市議会だより」の発行ができるよう努力してまいります。ご愛読、ありがとうございました。

（金）

QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

議会広報委員会
委員長　込山　文吉
副委員長　市川　洋介
委員　為広　員史
金子　辰男
詫間　政司
岩田　秀樹

R70
VEGETABLE OIL INK
この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集
三豊市議会・議会広報委員会　〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009　FAX.0875-73-3024　E-mail gikai@city.mitoyo.kagawa.jp